

平成25年度 公共事業再評価調査

(区分) **国補**・県単

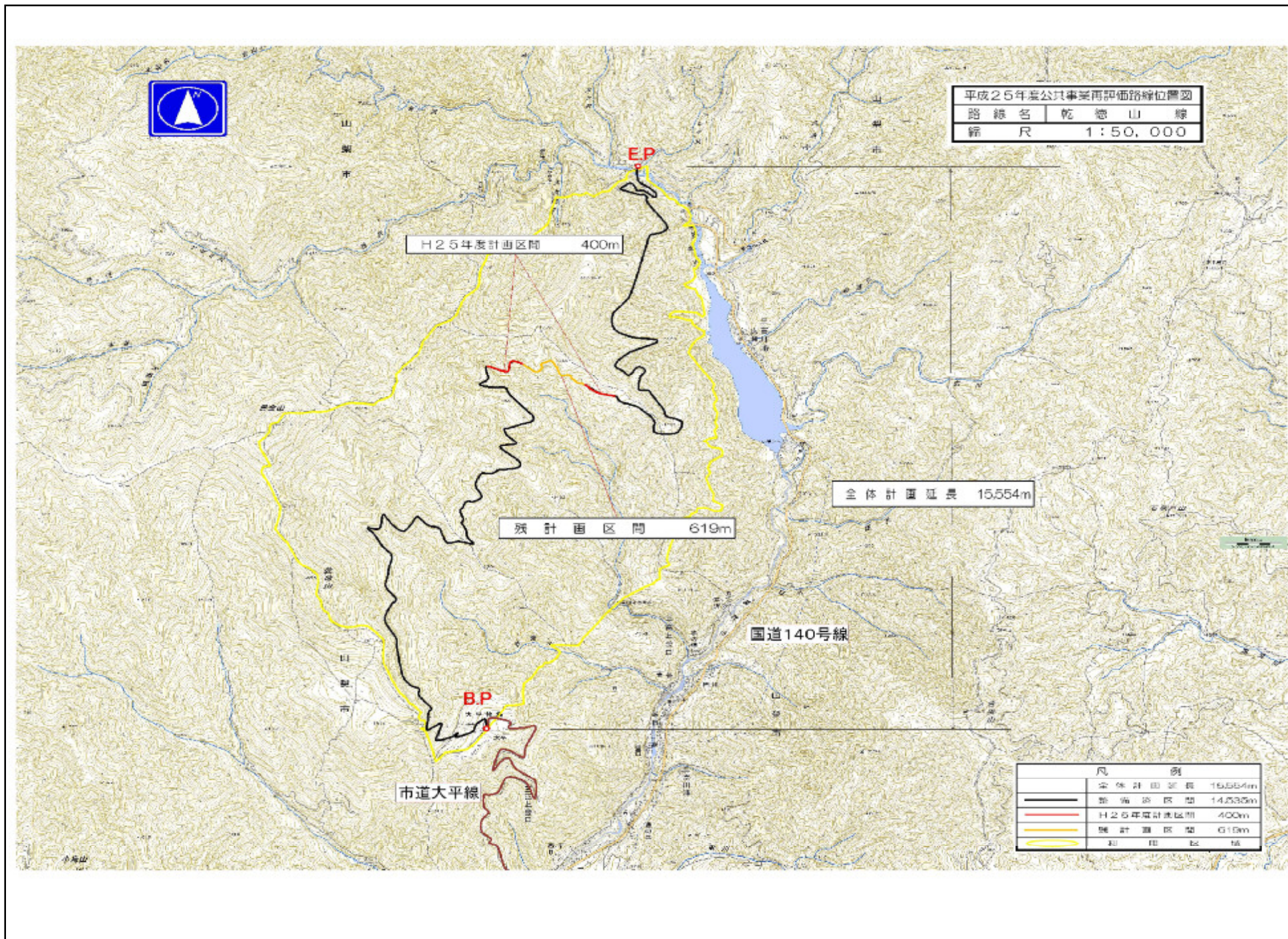
1. 再評価調査書

事業名	林道事業 [森林基幹道開設事業(国補)]		事業箇所	山梨市		地区名	乾徳山線		事業主体	山 梨 県	
	当初計画	現計画	今回見直し予定								
計画期間	S58~H20	S58~H27	—								
総事業費	2,706百万円	3,951百万円	—								
<b>(1) 事業の概要</b>											
<b>①事業目的及び効果</b>											
<p>本路線は旧三富村大平地区から乾徳山、黒金山の東側を通過して西沢渓谷入口である広瀬地区を結び、青笹川流域から広瀬湖右岸にかけての利用区域1, 237haの広大な森林を管理経営することを目的とした林道である。利用区域内のうち713haが人工林であり、人工林率は57.6%となっている。また、途中から森林管理道塚本山線が分岐しており、森林の水源かん養、国土保全機能等の適正な整備に必要不可欠な路線である。また、西沢渓谷、乾徳山などの観光地を連結することから、保健休養の利用にも寄与する。</p>											
<b>②事業概要</b>											
<p>森林基幹道 計画延長 15,554m 幅員 4.0m                  利用区域面積 1,237ha 森林資源蓄積量 64,598m<sup>3</sup></p>											
<b>③全体計画</b>											
	平成24年度まで	平成25年度 (評価実施年度)	平成26年度以降								
工事内容	林道開設 14,535m	林道開設 400m	林道開設 619m								
事業費	3,539百万円	130百万円	282百万円								
<b>④特記事項</b>											
<p>乾徳山、西沢渓谷などの観光地を結ぶルートとなる路線であり、地元からの期待も強い。</p>											
<b>⑤再評価時の評価状況</b>											
<p>(平成20年度再々々評価)                  森林の整備、管理には当林道は現時点においても必要性が高いと判断されることから、更なるコスト縮減と時間管理を徹底し、見直し案どおり、平成27年度の完成に努められたい。</p>											
<b>(2) 評価項目 [事業を巡る社会経済情勢等の変化]</b>											
<b>①地域・住民の意向状況</b>											
<p>当該林道は、森林の保全管理や林業経営に大きな役割を担っている。さらに森林の持つ多面的機能を生かし、地域の活性化にも効果のある路線なので早期完成を望まれている。(山梨市長の意見)</p>											
<b>②産業・経済情勢</b>											
<p>木材価格の低迷など林業の採算性の低下により、生産者の意欲は減退している。県産材を低コストで生産し、安定的に供給するための取り組みが必要となっている。</p>											
<b>③国等の方針変更</b>											
<ul style="list-style-type: none"> <li>森林・林業基本計画</li> <li>国は平成23年7月に「森林・林業基本計画」を策定し、10年後の木材自給率50%以上を実現するため、路網整備の加速化などにより、林業の持続的かつ健全な発展を実現することとしている。</li> </ul>											
<b>④上位計画・関連事業計画等の変更</b>											
<ul style="list-style-type: none"> <li>富士川上流地域森林計画 (平成24~33年度)</li> <li>第2次県有林管理計画 (平成23~32年度)</li> <li>やまなし森林・林業再生ビジョン (平成24~33年度)</li> <li>山梨県林内路網整備計画 (平成23~35年度)</li> </ul>											
<b>⑤自然環境条件等の変化</b>											
なし。											
<b>⑥その他</b>											
なし。											
<b>(3) 評価項目 [再評価時点の費用対効果分析]</b>											
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業採択時計画における事業全体B/C (昭和58年度) 未算出</li> <li>再評価時計画における事業全体B/C (平成10年度) 未算出</li> <li>再々評価時計画における事業全体B/C (平成15年度) 1.49</li> <li>再々々評価時計画における事業全体B/C (平成20年度) 1.53</li> <li>再々々々評価時計画における事業全体B/C (平成25年度) 1.42</li> </ul> 林野公共事業における事前評価マニュアルにより算出。											

## 2. 再評価調書

<p><b>(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]</b></p> <p><b>①計画変更等の概要</b>          平成15年度          景観に配慮したルートの見直しなどにより、計画延長と総事業費を見直した。          当初：計画延長14,645m 総事業費2,706百万円          変更：計画延長15,554m 総事業費3,951百万円</p> <p>平成20年度          急峻な地形と脆弱な地質等の影響により、計画どおりの事業進捗とならなかったため、計画期間の延長を行った。          当初：昭和58年度～平成20年度          変更：昭和58年度～平成27年度</p> <p><b>②施行済みの事業内容</b>          全体計画のとおり。</p> <p><b>③進捗率</b></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>*平成20年度</td> <td>平成21年度</td> <td>平成22年度</td> <td>平成23年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>計 画</td> <td>72</td> <td>76</td> <td>80</td> <td>84</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>72</td> <td>76</td> <td>82</td> <td>86</td> <td>93</td> </tr> </table> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>平成25年度</td> <td>平成26年度</td> <td>平成27年度</td> <td>算出方法</td> </tr> <tr> <td>計 画</td> <td>92</td> <td>96</td> <td>100</td> <td>計画延長/総延長×100</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>96</td> <td></td> <td></td> <td>実施延長/総延長×100</td> </tr> </table> <p>*再々々評価実施年度</p> <p><b>④事業の進捗が順調でない理由</b>          計画のとおり進捗。</p>		*平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	計 画	72	76	80	84	88	実 績	72	76	82	86	93		平成25年度	平成26年度	平成27年度	算出方法	計 画	92	96	100	計画延長/総延長×100	実 績	96			実施延長/総延長×100	<p><b>⑤今後の事業執行上の問題点</b>          なし。</p> <p><b>⑥今後の事業の進捗の見込み</b>          予定どおり、平成27年度に完了する見込みである。</p> <p><b>⑦事業計画の変更の見込み・可能性</b>          なし。</p> <p><b>(5) 評価項目 [環境への配慮]</b>          地形の改変を極力少なくする路線計画とし、切土・盛土法面については在来種を主体とした確実な緑化による保全を図り、良好な自然環境の維持及び景観に配慮した計画となっている。</p> <p><b>(6) 評価項目 [コスト縮減の可能性]</b>          地形に合った平面・縦断線形をとり、法面、路側構造物等を縮小する。切盛土量の収支均衡を図り、土工事のコストを縮減する。また、急峻な地形においては路肩の縮減を行う。</p> <p><b>(7) 評価項目 [代替案立案の可能性]</b>          事業の目的を達成するためには当路線の開設以外に方策はない。</p> <p><b>(8) 所管部の今後の方針</b> <b>継続</b>・見直し継続・その他 ( )          (理由)          計画どおりの進捗となっていることから、工程管理の徹底やコスト縮減に努めながら事業を継続する。</p>
	*平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度																													
計 画	72	76	80	84	88																													
実 績	72	76	82	86	93																													
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	算出方法																														
計 画	92	96	100	計画延長/総延長×100																														
実 績	96			実施延長/総延長×100																														

### 3. 添付資料シート（1）





計画地全景



林道開設区間と周辺の要整備森林



林道沿線の森林整備状況



林道終点付近の観光客の入り込み状況